

# 》 乗り入れ計画案について 検討資料

## 本編：目次

1. 検討会での意見について	1
2. 岡山駅前広場整備の基本コンセプト	2
3. 計画案について	4
3-1. シンボルゾーンの活用	4
3-2. 計画案の作成	8
4. 懸念事項について	13

## 【資料編】

資料編1	計画原案	資料-1
資料編2	商店街方面への歩行者動線の比較	資料-5
資料編3	商店街方向への見通し	資料-6
資料編4	計画案のイメージ	資料-7
資料編5	公共交通・一般車の利用実態	資料-9



- 平成28年12月22日に開催した「第2回あり方検討会」でいただいたご意見に対する対応を下表に示す。

検討会でいただいた意見に対する対応一覧表		
意見	回答	対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車電停横の歩行者動線の幅員を確保しても、迂回する経路となる。加えて、駅舎から駅前商店街方向への見通しも悪くなる。利便性が悪くなるにもかかわらず、資料では歩行者動線の確保ができており、適切な表現ではないので修正していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経路が現状に比して迂回することを表記(P12)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>路面電車が乗り入れることで路面電車が視線誘導となり、商店街方面に人が自然に集まりやすく、かつ、路面電車利用者から商店街が見えやすくなる。路面電車の乗り入れは商店街にとってもプラスが大きい。</li> <li>検討会資料の内容が交通に関する視点ばかりで、シンボルゾーンの活用に関する視点に乏しい。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンボルゾーンの活用方法を検討(P4-7)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>実証実験の前段として、広範囲の交通シミュレーションを行い、何が起こり得るのか検証してみてはどうか。</li> <li>実証実験の実施を要望している。</li> <li>広く理解を求めるためにも実証実験をすべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、交通シミュレーションを進めているところである。</li> <li>実証実験を否定しているものではなく、まず、交差点の改良について検討する必要がある。実証実験を具体的に検討する段階ではないと考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周辺交通への影響を把握するために交通シミュレーションを実施中。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地元からの宿題（なぜ乗り入れるのか。乗り入れない案はないのか等）について、納得できる回答をお願いしたい。</li> <li>根強い反対があることは、念頭に置いておいてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本検討会とは別に、連合町内会の要望事項について対応する。</li> <li>引き続き、説明会等を実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5/15に説明会を開催。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>切符購入等の駅利用への対応も必要なので、送迎ゾーンを縮小しない案が望ましい。</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般車駐車場の現地調査を実施(P18)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシーと送迎ゾーンを入れ替えることの是非について、即答はできない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー、送迎ゾーンについては、「現状のまま」と「入れ替えた案」の両方で引き続き検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゾーンを「現状のまま」と「入れ替え」の両方について、計画案作成(P8-12)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地下構造物の梁、柱の補強が必要となるが、地下街運営にできるだけ支障がでないよう工法等について具体の検討をお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、検討中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>別途、工法等について案を検討中。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ピーク時など路面電車の専用現示に応じた運行ができるのか、検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号に配慮して時刻表を調整していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行事業者と連携して、運行計画を検討(P20)。</li> </ul>

1. 岡山市第六次総合計画（長期構想）

【基本目標】「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」

- ◆地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり  
⇒中心市街地の回遊性の向上、魅力とにぎわいの創出
- ◆コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり  
⇒周辺地域と都心部が調和、発展し、それぞれの特性と機能を生かした、コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり  
⇒誰もが安全・快適・円滑に移動できるように公共交通を中心に、地域特性に応じた交通ネットワークの構築

2. 総合交通計画のコンセプト・目標

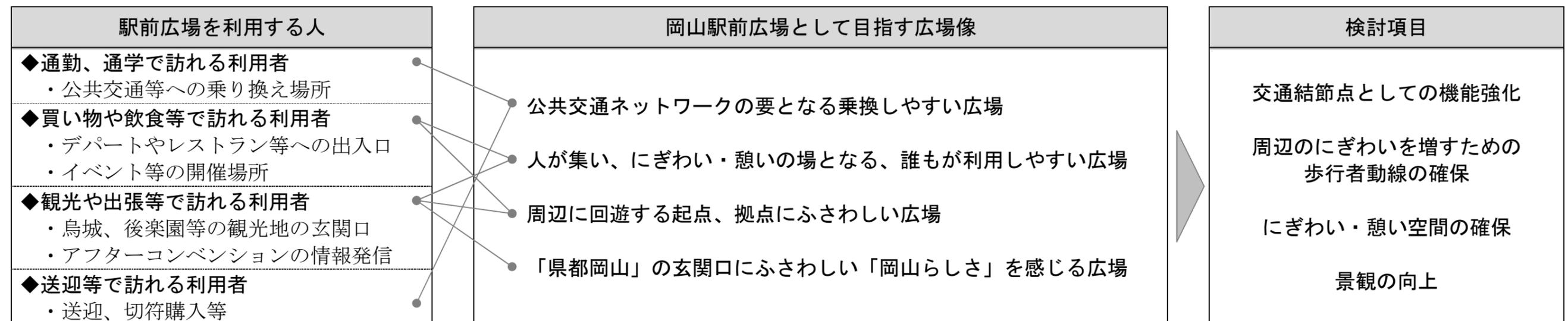
コンセプト	あらゆる人の交通環境を向上させ、人とまちを元気にする	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で快適な交通ネットワークをつくる</li> <li>・歩いて楽しい都心空間に変える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の移動を便利にし、健幸な暮らしを支える</li> <li>・参加・協働により交通政策を進める</li> </ul>

3. 岡山駅東口駅前広場の位置づけ

- 公共交通（鉄道・バス・路面電車等）ネットワークの要
- 県都岡山の玄関口として、おもてなしの拠点
- まちなかへの人の流れの起点
- まちなかのにぎわい拠点の一つとなる場所
- 市内で最も人の往来の多い場所（岡山駅乗降者数 約13.2万人/日）

4. 県都岡山の玄関口にふさわしい岡山駅前広場整備の基本コンセプト

公共交通を中心とした「人が主役」のにぎわい拠点となる広場



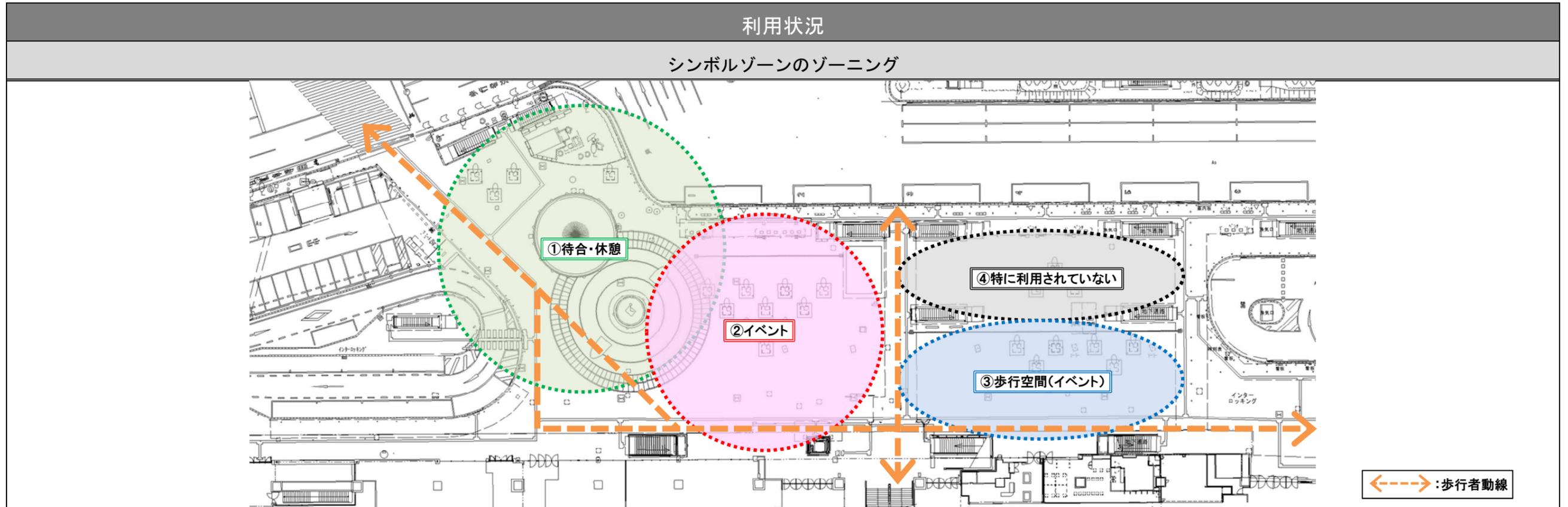
## ■路面電車乗り入れを含めた岡山駅前広場の基本となる検討方針

- ・基本となる検討方針を下表に示す。
- ・ここでは「にぎわい・憩い空間の確保」について、検討する。

検討項目	検討方針
交通結節点としての機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆乗り換え利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道、路面電車、バス、タクシーなどの交通手段相互の円滑な乗り換え利便性の向上を図る</li> </ul> </li> <li>◆案内の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通や周辺へのわかりやすい案内の再構築を図る</li> </ul> </li> <li>◆安全性の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通、一般車、歩行者の動線の分離を図る</li> </ul> </li> </ul>
周辺のにぎわいを増すための歩行者動線の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆駅前広場を拠点として、周辺へにぎわいを増す歩行者優先の動線確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者優先の動線の確保を図る</li> <li>・歩行者動線や広場内のバリアフリー化を図る</li> </ul> </li> </ul>
にぎわい・憩い空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆都心部として、にぎわい、活気づく空間へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント時における広場の利用のしやすさの向上を図る</li> <li>・にぎわい、憩いスペースの確保を図る</li> </ul> </li> <li>◆来訪者への「おもてなし」が感じられる広場づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての来訪者や訪日外国人等にとっても利用者しやすい広場を目指す</li> </ul> </li> <li>◆誰もが利用しやすい空間へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインに対応し、誰もが安全に安心して利用できる広場を目指す</li> </ul> </li> </ul>
景観の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆県都岡山の玄関口にふさわしい景観形成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や来訪者等が「岡山らしさ」を感じられる景観形成を目指す</li> </ul> </li> </ul>

3-1. シンボルゾーンの活用

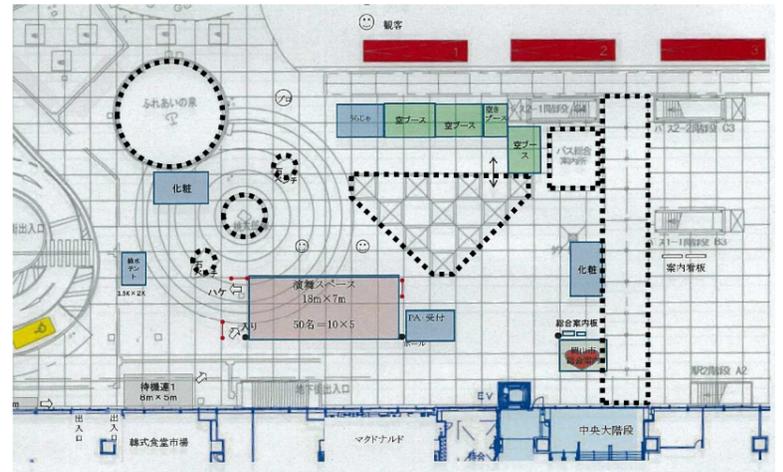
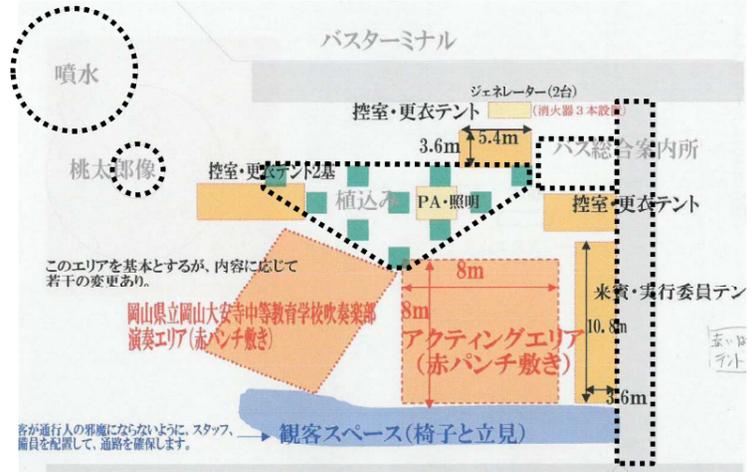
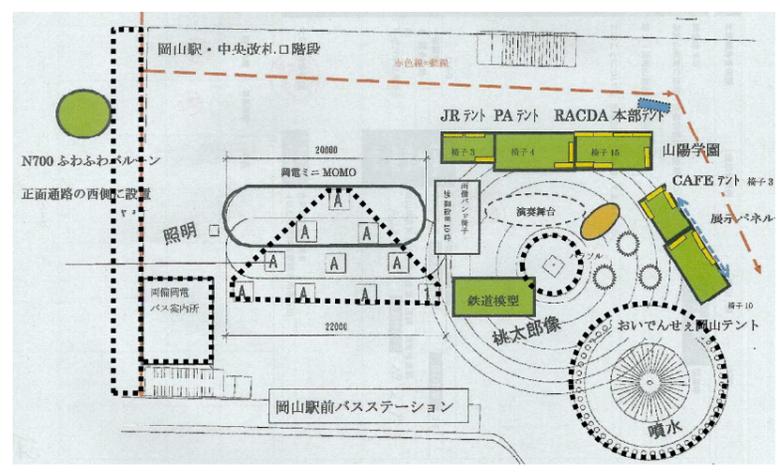
(1) 現在の利用状況



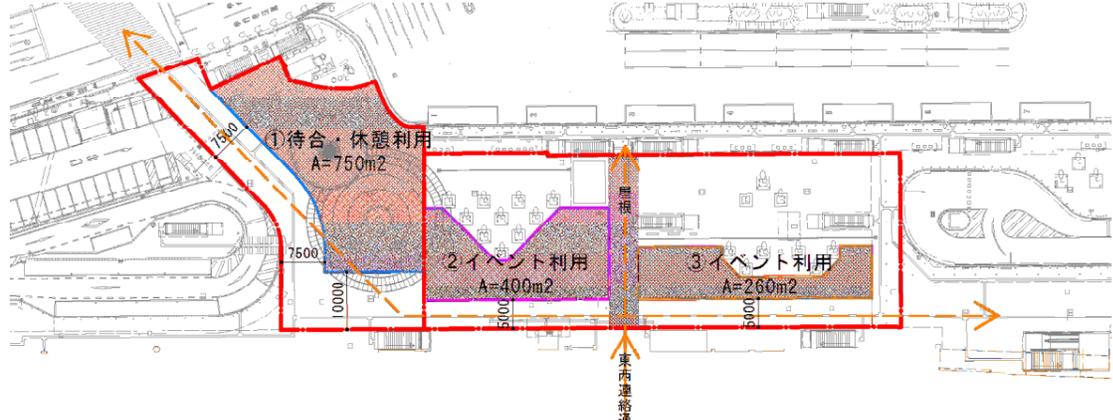
ゾーン①：待合・休憩	ゾーン②：イベント	ゾーン③：歩行空間（イベント）	ゾーン④：特に利用されていない
<p>・噴水と桃太郎像をランドマークに待合、休憩空間として利用されている。</p> 	<p>・イベント時にはステージ及び観覧空間として利用されている。 植栽帯やバス案内所、サインの施設が制約となり、イベント利用面積としては小さい。 ・平常時は歩行空間として利用されている。</p> 	<p>・主に歩行空間として利用されている。 ・物販等のイベント時に、テント設置空間として利用されている。</p> 	<p>・喫煙所以外には、特に活用されておらず、バス乗換のための歩行空間として利用されている。 ・地下階段、喫煙所で囲まれており、視認性に乏しい。</p> 

◆イベントの施設配置例

- ・ほとんどのイベントが東西連絡通路正面の植栽帯までの空間を利用しており、補助テントなどは植栽帯や地下階段周辺のわずかなスペースを活用している。
- ・植栽帯、バス案内所などの施設により、まとまった空間が確保できない状況にあり、大規模なイベントや効率の良い施設配置ができない状況となっている。そのため、観覧者と動線が近接する機会が多く、各機能の適切なスペースの確保が困難な状況となっている。

イベント	おかやま桃太郎まつり	おかやま国際音楽祭	路面電車まつり
開催状況			
施設配置			
必要面積	演舞スペース：18m×7m	演奏エリア：8m×8m	岡電ミニMOMO：20m
備考	・桃太郎像、噴水周辺にもテント設営あり。		・桃太郎像、噴水周辺にもテント設営あり。 ・東西連絡通路より南側の空間においても催しあり。

【参考】現況広場の利用面積



- ・桃太郎像及び噴水周辺のエリア①は、「待合」や「休憩」の空間として利用されており、約 750m<sup>2</sup> 確保されている。
- ・東西連絡通路から北側のエリア②は、イベントが多く開催されているエリアである。イベント空間としての面積は、利用しづらい植栽帯及びバス案内所を除き、約 400m<sup>2</sup> である。
- ・東西連絡通路から南側のエリア③は、地下階段や植栽帯、喫煙所により利用に制約があることから、イベント空間としてほとんど利用されていない。イベント空間としての面積は約 260m<sup>2</sup> である。

(2) 路面電車乗り入れを含めたシンボルゾーンのゾーニング

	拡張しない場合	拡張する場合
ゾーニング		
にぎわい・活気	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンボルゾーン内の植栽帯及びサインを効果的に配置する。</li> <li>バス案内所を公共交通案内所として機能強化するとともに、位置を変更することでまとまった空間を確保する。</li> <li>まとまった空間を確保することで、さまざまな規模のイベントや複数イベントの同時開催に対応することが可能（平常時は待合、休憩空間）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下階段の南に十分な空間が確保できるため、空間を活かしやすい。</li> <li>「待合・休憩空間」は、現況と同規模を確保することが可能。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下階段の南に十分な空間が確保できないため、空間を活かしづらい。</li> <li>「待合・休憩空間」の面積が 210m<sup>2</sup> と現況の約 3 割の面積しか確保できないことから、現況広場機能より劣る。</li> </ul>	
おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>「県都岡山の玄関口」にふさわしい開放的な空間とし、岡山のメイン通りである「桃太郎大通りへの見通し」を確保する。</li> <li>岡山を印象付ける岡山のシンボルである「桃太郎像」を設置することで、県外からの来訪者へのおもてなしを演出する。</li> </ul>	

シンボルゾーンが広がることで期待されるにぎわいの例（博多駅：賑わい交流空間、A=約 830m<sup>2</sup>）



(3) シンボルゾーンの活用計画 (案)

ゾーニング	イメージ
	<p>中央階段から桃太郎大通り方向</p> <p>噴水から路面電車方向</p>

ゾーン位置	機能	考え方
電停南側 (緑色) (駅舎正面)	おもてなし にぎわい (イベント) 待合	<ul style="list-style-type: none"> <li>東西連絡通路の正面空間は「おもてなし」と「待合 (来訪者)」と位置づけ、岡山のシンボルである「桃太郎像」などを設置する。また、イベント空間としての機能も有することから、ベンチ等の施設整備については必要最小限とする。</li> <li>「桃太郎像」の配置については、写真撮影空間を確保し、かつ、東西連絡通路下から桃太郎大通りへの見通しを阻害しない位置としている。</li> </ul>
電停北側 (黄色)	待合・休憩	<ul style="list-style-type: none"> <li>「待合」のランドマークとして、「噴水」を設置する。電停横に設置することで、新たな「撮影空間」にもなり得る。</li> <li>また、待合場所が現況よりも交差点に近づくことで、商店街やその他施設へ向かう動機づけになることが期待される。</li> <li>2箇所休憩空間を設ける。</li> </ul>

